

令和7年度 第2回江別市社会教育委員の会議

日 時：令和8年2月17日（火） 15時30分から16時15分まで

会 場：教育庁舎 大会議室

出席者：社会教育委員 委員 長 井上 大樹 副委員 長 藤田 昌之 委 員 黒河内葉子 委 員 佐藤 貴史 委 員 西田浩太郎 委 員 藤田くみ子 委 員 岡山 拓 委 員 松山 和子 委 員 石川 忠博 委 員 木滑 幸江	教育委員会 教 育 部 部 長 佐藤 学 生涯学習課長 星野 真 スポーツ課長 松井 正行 情報図書館長 佐野 之範 郷土資料館長 堀井 修 生涯学習係長 稲垣 麻美 文化振興担当主査 朝倉麻沙美 青少年係長 左川 貴久 社会教育主事 中田 稜子
------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------	-----------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------------

欠席者：社会教育委員 なし	教育委員会 教 育 部 次 長 新山 千穂 セラミックアートセンター参事 兼平 一志
---------------	-----------------------------------------------

傍聴者：なし

会 議 録	
1 開会	
2 教育部長あいさつ	
3 委員長あいさつ	
4 議題（1）令和8年度社会教育予算（案）に係る主要事業について	
井上委員長	それでは、次第に沿いまして、進めさせていただきます。 議題の（1）令和8年度社会教育予算（案）に係る主要事業について、説明をお願いします。
稲垣生涯学習係長	それでは、令和8年度社会教育予算（案）に係る主要事業についてご説明いたします。 各課の主要事業を抜粋した、資料1「令和8年度 社会教育事業（主要事業）」に基づいて各所管課からご説明いたします。その他の事業につきましては、資料2、ページは5ページから10ページになります。「令和8年度 社会教育予算（案）に係る主要事業一覧」に記載しておりますので、ご参考にしていただければと思います。 それでは、それぞれ所管課から説明させていただきます。
星野生涯学習課長	はじめに、令和8年度の予算につきましては、2月24日から開催される令和8年第1回江別市議会定例会に提案され、議決を経て確定するものです。そのため、本日も説明する主要事業は、予算（案）の段階であることをご理解いただき、取扱いにご留意願います。 はじめに、生涯学習課の主な事業についてご説明申し上げます。 資料の1ページをご覧ください。 1段目の「公民館施設補修整備費」は、中央公民館・コミュニティセンター・野幌公民

館における照明改修工事、大麻公民館・市民文化ホールにおける変圧器等更新工事に係る経費です。

2段目の「地域学校協働活動推進事業」は、新規事業であり、地域住民、保護者、学生、団体、民間企業などの幅広い皆さんの参画を得て、地域と学校が連携・協働して地域全体で子どもの学びや成長を支え、地域を創生する活動を推進することを目的とした事業です。

今後の計画としましては、これまでボランティア派遣などにより、学校を支援してきた「学校支援地域本部」を発展させ、新たに「地域学校協働本部」を4月に設置します。その後10月から、地域と学校をつなぐパイプ役となる「地域学校協働活動推進員」をモデル校区に配置し、コミュニティ・スクールとも連携するなかで、学習サポートのほか、登下校の見守りや地域イベントの調整など、地域と学校の特色に応じた活動を展開してまいります。

3段目の「市民芸術祭開催支援事業」は、年2回開催しているまちかどコンサート開催に係る経費のほか、市民ミュージカル本公演に向けたワークショップ開催経費への補助などに係る経費を計上しております。

4段目の「江別の魅力『食』と『自然』を満喫できる体験型学習事業」は、「都市と農村の交流センターえみくる」を会場に、江別産食材をふんだんに使ったピザを江別産レンガ窯で焼き上げる食育、木の実を分類するミニゲームや北海道や江別を学ぶオリジナルカードゲームのほか、座学で学んだ防風林の間伐材使用した焚火を通じた森林・環境教育を行い、子どもたちが楽しみながら江別の魅力である『食』と『自然』の体験型学習の機会を提供しています。

令和8年度からは、新しいプログラムを企画しており、これまでとは異なる手法で子どもたちの視点から江別の魅力を考え、体験する内容への変更を予定しています。

以上で、生涯学習課所管事業に関する説明を終わります。

松井スポーツ課長

続いて、スポーツ課の主な事業についてご説明申し上げます。

2ページをお開きください。

1段目の「トップアスリート交流推進事業」は、トップアスリートとの交流により、市民のスポーツ技術の向上とスポーツ活動の活性化を図る事業であり、日本代表・プロスポーツ団体への合宿支援や、市民とプロスポーツ選手等による交流事業を実施する予定であります。

2段目の「中学校部活動サポート事業」は、生徒がスポーツ・文化芸術活動に継続して親しむことができる機会を確保するため、部活動の地域展開に関する推進会議の開催や、部活動指導員の増員・活動時間数の増のほか、地域展開アドバイザーの配置を行う予定であります。

以上で、スポーツ課所管についての説明を終わります。

佐野情報図書館長

続きまして、情報図書館の主要事業について、ご説明いたします。

資料は2ページをご覧ください。

3段目の「子どものための読書環境整備事業」ですが、学校図書館の環境整備や教育活動の支援のために、学校図書館を巡回する司書4名、これを支援する司書1名の配置に要する経費と、支援に伴う消耗品費、図書購入費を計上しております。

4段目の「本でつながるまちづくり事業」は、雑誌の導入等を支援していただく代わりに、図書館が、閲覧用の雑誌カバーや公用車などへ広告を掲載するほか、併せて図書館の展示スペース等を活用して協力企業等の取組を紹介することにより、図書館の利用者が協

	<p>力企業等を知る機会を設けるもので、地域のつながり促進や図書資料の充実による利用者サービスの向上を目的とした官民連携の事業です。</p> <p>以上で、情報図書館所管についての説明を終わります。</p>
堀井郷土資料館長	<p>続きまして、郷土資料館及びセラミックアートセンターの主要事業につきまして、ご説明いたします。</p> <p>資料は3ページをご覧ください。郷土資料館事業から、ご説明します。</p> <p>1段目の、ふるさと江別塾「江別を学ぶ」開催事業は、市民の郷土史に対する理解を深めてもらうために、歴史講座等を開催するものです。</p> <p>引き続き、小学生を対象に学芸員の仕事などを体験してもらう「子ども学芸員カレッジ」や、市内の史跡を見学する「再発見・江別探訪」などの開催を通じて、市民が江別の歴史を学び、文化財や史跡に親しむ機会を提供してまいります。</p> <p>2段目の「文化財施設等整備事業」は、北海道指定文化財である野幌屯田兵第二中隊本部の、老朽化により、外壁部分に損傷箇所があることから、補修工事を行うものであります。</p> <p>次にセラミックアートセンター事業について、ご説明します。</p> <p>1段目の「セラミックアートセンター企画展開催事業」は、鹿追町の協力による神田日勝展や郷土を代表する版画家の手島圭三郎さんの絵本原画展のほか、市内大学等との連携による「江別市中学校美術部合同展」を開催いたします。</p> <p>2段目の「陶芸文化普及振興事業」は、センターの特徴を活かしながら生涯学習とやきもの文化の普及啓発を図っていこうとするもので、各種陶芸教室、陶芸体験、技法講座等のほか、工房利用の1年間の成果を発表する「工房利用者作品展」を開催いたします。</p> <p>説明は以上です。</p>
井上委員長	<p>ただいま、資料1の社会教育予算(案)について説明がありました。詳細は資料2に掲載されております。ご質問、ご意見等ありましたらお願いいたします。</p>
石川委員	<p>資料2を見ると、大きく増えているのは指定管理料関係のところであり、人件費の増とか、そういったものが主な理由なのかなと思いますが、その辺を教えてください。</p>
星野生涯学習課長	<p>公民館管理運営事業、コミュニティセンター管理運営事業、市民文化ホール管理運営事業の部分ですが、これらの指定管理につきましては、指定管理の期間が8年間であり、令和4年から始まり4年経過しているところです。委員がおっしゃられたとおり、近年の人件費の状況や物価高騰の影響で経費が上がっていることから、今年度に中間検証を行った結果、物価の上昇が認められ、来年度に向けて指定管理料の適正化ということで見直しを行ったため予算が増えています。</p>
佐藤部長	<p>スポーツ課所管の体育施設も同様の理由となっております。</p>
井上委員長	<p>せっかく今話題になっていますので、8ページに詳細が記載されている部活支援の拡大について、かなり大幅な増額となっていますが、中学校部活動について岡山委員からご意見いただけますか。</p>
岡山委員	<p>国の大きな流れとして、部活動の地域展開ですとか、学校は学校職員だけではなく、関</p>

	<p>係機関や地域の方と一緒に学校を運営していくなど、学校のあり方自体が変わってきています。本校でも例えば部活動指導員を手配していただくなど色々助けられていますので、予算の関係も大きく関わってくるのかなと思って理解しています。細かいところまで手当ていただいていると私は捉えていて、今後もっと子どもたち、それから先生方の働きやすさにとっても良い環境が構築されるのかなと期待しているところです。</p>
井上委員長	<p>9ページの項目の中で、巡回司書・支援司書の配置については、前年度比745千円増額ということになります。人件費上昇を吸収するという形でしょうか。それとも配置の時間を拡大するという形でしょうか。</p>
佐野情報図書館長	<p>委員長がおっしゃったとおり、こちらについては、昨年度と同様、巡回司書4名と支援司書1名で人数は変わっておりません。会計年度任用職員という形で今任用しており、増額の理由は人件費の増によるものであります。</p>
黒河内委員	<p>巡回司書と支援司書の違いはなんですか。</p>
佐野情報図書館長	<p>本来であれば、各学校に1名ずつ学校の司書がいればいいのですが、なかなか人的な部分で配置ができないものですから、1人が大体2～4校くらい学校を回っており、それぞれの図書室の整備や、その他の環境整備をするのが巡回司書というものになります。そうすると大体行けるところに週1回ということになりますので、そういった調整や、巡回司書が行けない場合にフォローするのが支援司書というものになります。概ね、巡回司書が小学校、支援司書が小学校の他、中学校も担当しており、支援司書は全体調整の役割も担っております。</p>
松山委員	<p>情報図書館の設備更新の中の新規で児童室シャッター修理とありますが、これは児童室のどこのシャッターになりますか。</p>
佐野情報図書館長	<p>普段は降りてないのですが、火災時に防火シャッターが降ります。それが今故障しているため、そちらの予算です。</p>
松山委員	<p>仕切りにするようなドアとはまた別のシャッターが設置されているということですか。</p>
佐野情報図書館長	<p>別です。</p>
松山委員	<p>スケートリンクの管理運営事業の件で、スケートリンクを管理しているのはスポーツ課でしょうか。例えば開催日数とか、氷の状態とかそういったものを毎日管理していると思いますが、どこかに委託されているのでしょうか。</p>
松井スポーツ課長	<p>スケートリンクの管理運営事業は、スポーツ課からスポーツ振興財団に委託しています。そこからまた再委託という形となっていますが、毎朝スケートリンクの氷の状態を早朝に確認します。朝は気温が低くても気温が上がっていく可能性もありますので、まず早朝に開催できるか確認し、もし開催できないようであれば旗を立てて、今日は中止ですとお知らせしています。また、予報よりも気温が上がってきて午前中は滑れる状態でも、氷の状態が少し怪しくなってきた場合には、途中で休止という形をとるというように管理</p>

	しております。
松山委員	私の子どもたちも、あのリンクで遊び、今年も開いたよと言うとまだやっているのだとすごく喜びます。ふるさとと言ったら変ですが、記憶に残る事業なんだろうなと思いますので、温暖化で開催期間が短くなっていくのかもしれませんが、ぜひ続けてほしい事業だと思っていました。
松井スポーツ課長	通常、例年1月4日頃から1ヶ月間行っているのですが、ご存じのとおり温暖化の影響で徐々に開催できる日数が減ってきており、約3分の2は開催できたのですが、残りの3分の1は氷の状態があまり思わしくなく、開催できないという状況でした。
松山委員	札幌市内の方達にお話をすると、江別にそんなリンクあるのだと驚かれます。市民の方が自由に使え、蓄積された財産みたいなもの、例えばスケート靴とか、そういうものがあるのだという話をすると驚かれたり、結構貴重な財産かもしれないと思いました。ぜひ事業を続けていただければと思います。ありがとうございました。 森林キャンプ場管理運営事業の中で、野生動物がキャンプの時に出てくることはないだろうと思うのですが、対策は何か考えたりしているのですか。
松井スポーツ課長	基本的に野生動物、きつねとかたぬきとかそういうのはいると思うのですが、やはり一番心配しているのは熊だと思います。
松山委員	あとはアライグマも結構凶暴だと聞いていますが、割と身近に最近出てきてますよね。
松井スポーツ課長	看板などは掲げており、情報を収集して来場者へ情報提供をしているという状況です。やはり一番心配されているのは熊だと思います。野幌森林公園については、何年前に熊が来ていますが、ここ数年については熊は周辺には来ていないという状況なので安全にキャンプは楽しんでいただけたらと思います。ただ、今はSNSで情報拡散しており、過去にそういう事例があったので、また出るのではないかと心配はされているのですが、キャンプ場としては常に安全については情報収集などに努めており、お客さんに安全に快適に使用できるようにご対応しておりますので、安心してご利用ください。
井上委員長	野幌森林公園は熊は住んでいないはずですが。ただ、最近の研究では手稲山などの山奥にいる熊の行動範囲が思ったより広いということがあります。私が恵庭市に10年前に移ったときに、高齢者などに話を聞くと、恵庭市はふもとですが、朝に熊を見たという証言も結構あるみたいです。熊は20kmから30kmを平気で一晩で歩くということがあるので、警戒するに越したことはないですし、それに付随してよく言われるのが、マナーです。利用者のごみの管理を中心とするマナーをしっかり守っていただく、そういうところを気をつけるということが大事だと思います。 あとはいかがでしょうか。物価高等苦しい中で色々取り組んでいただいているかなと思います。特に指定管理につきましては、人件費と光熱費はやはり基本的な部分となりますので、今後も状況を確認させていただければというのを私からの要望として付け加えさせていただきます。 それでは次の議題に移らせていただきます。

4 議題（２）令和８年度社会教育予算（案）に係る補助金の交付について	
井上委員長	次に、議題（２）令和８年度社会教育予算（案）に係る補助金の交付について、説明をお願いします。
星野生涯学習課長	<p>令和８年度社会教育予算（案）に係る補助金の交付についてご説明いたします。</p> <p>１１ページ、資料３をご覧ください。この調書は、補助金を交付する団体や補助する事業内容についてまとめたものになります。</p> <p>社会教育法第１３条において、地方公共団体が社会教育関係団体に対し補助金を交付しようとする場合には、あらかじめ社会教育委員の意見を聴いて行わなければならないとされています。</p> <p>これは、社会教育関係団体に対する補助金について、補助の目的や補助対象事項等を明らかにし、補助の目的はあくまで団体による社会教育活動の支援にあり、団体を支配したり事業の内容に干渉したりするものではないことを、社会教育委員の皆さんに確認していただくためです。</p> <p>社会教育関係各課が所管する補助金のうち、社会教育関係団体に対する補助金を対象としています。個人に対する補助や、施設整備に対する補助は対象としていません。</p> <p>なお、社会教育関係団体とは、「法人であると否とを問わず、公の支配に属しない団体で社会教育に関する事業を行うことを主たる目的とするもの」と社会教育法第１０条で定義されております。</p> <p>それでは主要な補助金についてご説明いたします。</p> <p>１段目の「社会教育団体支援事業」、補助対象団体が「江別市女性団体協議会」ですが、女性団体協議会の事業活動に係る経費を補助するもので、女性大会・女性協まつりの開催事業、機関紙発行の啓発事業、管内他市町村との地域交流に係る研修派遣事業を補助対象としています。</p> <p>２段目の「江別市生涯学習推進協議会」は、生涯学習推進協議会の活動に係る経費を補助するもので、当協議会では、生涯学習に関する講座を開催しているほか、生涯学習に関する情報を広報誌で定期的に発信するなど、市民の主体的な生涯学習活動を支援しています。</p> <p>１２ページ２段目、「江別市文化協会補助金」は、文化協会が実施する研修や情報誌発行等の広報、文化功労賞等の顕彰、事務局運営などの文化協会事業と、文化協会が開催する市民文化祭事業にかかる経費を補助します。</p> <p>一番下の段の「芸術鑑賞招へい事業」は、芸術鑑賞の機会を充実させることを目的に、舞台芸術分野のプロを招へいし、質の高い公演を企画する市民団体を支援するもので、音楽公演団体、演芸公演団体、演劇公演団体の活動を補助しております。</p> <p>１３ページをお開き願います。</p> <p>１段目の「子ども会育成事業」は、江別、野幌、大麻・文京台の各地区青少年育成会から構成される「江別市子ども会育成連絡協議会」が取り組む、幅広い年齢層の子どもたちへの豊かな体験活動と、各地区育成会が行う活動に対し、補助金を交付しております。</p> <p>以上です。</p>
井上委員長	<p>ただいま、社会教育関係事業の補助金について説明がありました。</p> <p>なお、補助金交付について、生涯学習課長から社会教育法第１３条の規定について説明があったように、社会教育委員の会議の意見を聴いて行わなければならないことから、そのことを踏まえてご意見をいただければと思います。</p>

石川委員	<p>2点お聞きしたいのですが、まずは14ページの下から2段目のスポーツ大会等振興補助事業が、200万円くらい減額になっているのですが、これは何か大きな理由があるのだらうと思いますので、それを教えていただきたいと思います。</p> <p>もうひとつは、15ページに野幌太々神楽伝承会ということで、伝承会の方は40万円から30万円に下げるとのことなのですが、元が40万円しかないので、大げさに言えば25%も減らすという話なので、この辺も教えてください。</p>
松井スポーツ課長	<p>スポーツ大会等振興補助事業の減額についてですが、令和7年度の人員が4人だったのですが、別の事業に配置転換があり、1名分の人件費が別の事業に移管され減という形となりましたことから、大会等の補助金が減額になっております。</p>
堀井郷土資料館長	<p>野幌太々神楽伝承会の件についてですが、これまで30万円でしたが、令和7年度が30周年記念ということで10万上乘せで支給していましたので、例年どおりとなります。</p>
井上委員長	<p>他にありませんでしょうか。</p> <p>今年度はあまり変化がないという状況で、今ご指摘いただいたところくらいしかないというところかもしれません。</p> <p>議題については以上ですが、委員の皆さんからご意見がなければその他に移らせていただきますが、よろしいでしょうか。</p>
5 その他	
井上委員長	<p>それでは、次第5その他(1)江別市における地域学校協働活動の推進について、説をお願いします。</p>
星野生涯学習課長	<p>それでは、お手元の資料をご覧ください。</p> <p>1「地域学校協働活動とは」ですが、平成29年に社会教育法の改正により、「地域の高齢者、成人、学生、保護者、PTA、NPO、民間企業、団体・機関などの幅広い地域住民の参画を得て、地域全体で子どもたちの学びや成長を支えるとともに、「学校を核とした地域づくり」を目指して、地域と学校が相互にパートナーとして連携・協働して行う様々な活動」として、位置づけられたものです。</p> <p>この活動の推進のため、地域と学校をつなぐコーディネーターとして「地域学校協働活動推進員」を教育委員会が委嘱することができるとされたもので、他市町村でも推進員の設置が進んでおり、石狩管内でもほとんどの市で設置されている状況です。</p> <p>2「江別市における取組など」ですが、江別市のこれまでの主な取組としては、平成23年から「学校支援地域本部」を設置して、退職教員や地域住民、大学生などをボランティアとして学校へ派遣し、学習サポートを行ってきたところです。また、平成14年から「土曜広場」を開催し、地域住民主体の推進委員会によって学校の協力を得ながら子どもたちの土曜日の活動の場を提供してきました。</p> <p>今後の取組につきましては、令和8年4月から「学校支援地域本部」を「地域学校協働本部」に発展させ、これまでの学習サポートに加え、例えば登下校の見守りや学校の環境整備、イベントなどの地域活動の調整や拡充などをすすめていきたいと考えています。</p> <p>将来的には、「地域学校協働活動推進員」を各中学校区に1名ずつ配置することを目指しますが、まずは、モデル校区として令和8年10月に1名の配置を計画しているところです。</p>

	<p>学校や地域の方との関わりにつきましては、参考の図で示しているとおり、コミュニティスクールの取組とも連携・協働してボランティアの地域住民などの参画をいただきながら、表の中央の地域活動や学習サポートなど、学校や地域の特色に応じた様々な活動を展開していくこととしております。</p> <p>社会教育委員の会議との関わりですが、図の右側の地域学校協働本部の中に「本部会議」と記載しておりますが、協働活動の推進にかかる企画立案、ボランティアに関することや情報発信・啓発などを協議する本部会議のメンバーとして、社会教育委員の会議から一人に参加いただきたいと思いますと考えております。</p> <p>18ページに移ります。令和8年10月から予定しておりますモデル校区につきましては、3に記載のとおり、中央中学校区を候補とし、対雁小、中央小、中央中と調整しているところであり、10月から1名の推進員で3校を担当する形で進めたいと考えています。</p> <p>推進員については、地域の方で地域学校協働活動に対し熱意や見識があり、地域住民や学校とのコミュニケーション能力がある方が望まれるところで、特に資格要件などはありませんが、まずはモデルとなるべく教員経験者などで適任者を選定していく予定です。</p> <p>4「地域学校協働本部について」ですが、校長会・教頭会・PTAのほか、今後配置する協働本部コーディネーター、推進員や教育委員会で構成するものであり、本年5月頃に1回目を開催予定で、今後、各団体へ推薦依頼をする予定です。</p> <p>ここで、委員の皆様にご挨拶申し上げます。</p> <p>社会教育委員の会議からの参加につきまして、事務局としましては、代表して井上委員長にお願いしたいと考えており、井上委員長のご内諾もいただいておりますので、委員の皆様にご承認をいただきたいと思います存じますが、ご承認いただけますでしょうか。</p>
委員一同	異議なし
星野生涯学習課長	<p>ありがとうございます。</p> <p>それでは、井上委員長に本部会議への参加をお願いすることとさせていただきます。</p> <p>最後に、5「令和8年度のスケジュール」ですが、先ほどご説明しましたとおり、4月に本部を設置し、5月にモデル校区の学校運営委員会への説明を行い、第1回の本部会議を開催予定です。その後、10月にモデル校への推進員の配置を行う予定です。</p> <p>なお、この地域学校協働活動の実施状況につきましては、社会教育委員の会議でもご報告させていただきます。</p> <p>説明は以上です。</p>
井上委員長	<p>僭越ながら、代表としてしっかり務めさせていただきます。</p> <p>その他、事務局から何か連絡等ありますでしょうか。</p>
生涯学習係長	<p>今週21日（土）に市民文化ホールにて、令和7年度の江別市青少年文化賞・スポーツ賞の贈呈式が行われます。全国大会、全道大会で優秀な成績を収めた青少年、総勢57個人、24団体を表彰いたします。来賓として、当会議の藤田副委員長が文化協会理事長として臨席いたしますことをご報告いたします。</p>
井上委員長	他にございますか。
星野生涯学習課長	今後の予定などですが、次回の会議は例年8月を予定しており、現在の社会教育委員の

<p>井上委員長</p>	<p>皆様の任期は、今年7月31日で満了となり、このメンバーでの会議は今回が最後となります。少し早いですが、この2年間の活動について、深く感謝申し上げます。どうもありがとうございました。皆様の知識やこれまでの経験により行政には足りない部分にご意見をいただき、地域社会の活性化に繋がったものと強く感じております。本当にどうもありがとうございました。改選にあたりましては、後日各団体に推薦のご依頼をさせていただきますが、継続して委員になった際には、引き続きまたご指導ご協力のほどどうぞよろしくお願いいたします。</p> <p>以上です。</p> <p>任期内の会議はこの会が最後となりました。私自身なかなか会議に出られなかったりですとか皆さんにご迷惑をおかけしました。私が今委員長をさせてもらっていますが、経験者の枠として出てる身としては、できれば地元の方にやっていただくのが一番いいのかなと思っております。あくまでも私が務めさせていただいている間はお預かりをしているという意味で受けさせていただいております。今後また新しい委員の構成を考えてくださっているとは思いますが、またぜひ活発な議論ができるように現場で活躍されている方を委員にさせていただいたり、経験を積んでいただく方をしっかり大事にさせていただければと思っております。まずはこの2年間皆さんには大変ご迷惑をおかけしました。大変お世話になりました。どうもお疲れ様でした。ありがとうございました。</p> <p>それでは以上をもちまして、第2回江別市社会教育委員の会議を閉会いたします。ありがとうございました。</p>
<p>6 閉会</p>	